

奈弓連だより

通巻 259号

令和5年9月号
発行 奈良県弓道連盟
会長 西中正
編集担当 松澤和実 中西省五
連絡先: henshu@narakyudo.jp

第20回全国中学生弓道大会 JOC ジュニアオリンピックカップ

男子個人:松村寿洸選手(八木中)が優勝

女子個人:大内真琴選手(橿原中)は5位入賞

8月19日(土)・20日(日)に明治神宮弓道場至誠館と全日本弓道連盟中央道場にて、男子44団体、男子個人43名、女子44団体、女子個人43名の選手が参加し、8月19日が男子、20日は女子に分けて開催されました。今年度は4年ぶりの東京開催になり、奈良県勢の男子は団体・個人、決勝進出を果たすことができ、男子個人で出場した松村寿洸選手(八木中)が優勝という快挙を遂げてくれました。また、女子個人で出場した橿原中学校の大内真琴選手は5位に入賞することができました。

奈良県勢の結果は以下の通り。

<予選>

- ・個人 8射5中以上で通過
男子 松村 寿洸 (八木中3年) 8射5中
女子 大内 真琴 (橿原中3年) 8射5中

- ・団体 各人8射 計24射
総的中上位16チーム通過
男子 白檀中(廣瀬、藤田、井上、丹喜) 24射14中
→予選通過
女子 香芝中(北川、森本、村井、竹内) 24射8中
→予戦敗退

<決勝>

男子団体 白檀中は1回戦で敗退。

男子個人

松村 寿洸 (八木中3年) 射詰○×○○ → 優勝

女子個人

大内 真琴 (橿原中3年) 射詰○×
→ 遠近競射により5位入賞。

立番	氏名	所属	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	順位
13	ジシ 星伍	長崎県	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	3位
14	小林 裕聖	神奈川県	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	優勝
16	松村 寿洸	奈良県	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	5位
18	林 宗太郎	富山県	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	4位
19	平塚 燈真	福島県	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2位
20	鈴木 爽矢	愛知県	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	6位
24	武石 龍丸	茨城県	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	7位
28	大月 空大	東京都	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	8位
33	中津 栄斗	高知県	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
38	村田 悠太	熊本県	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
40	川瀬 雄輝	鹿児島県	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
42	川島 弘大	佐賀県	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

男子個人 優勝 松村寿洸選手(八木中)



女子個人 5位入賞 大内真琴選手(橿原中)
(中体連 中前 芳一)

国民体育大会近畿ブロック予選

少年女子が遠近総合1位でかごしま国体へ!

8月18日(土)兵庫県立弓道場にて開催されました。

少年女子

野村 美優 (法隆寺国際)・米田 理乃 (高田商業)・
吉田 望愛 (五條)・小西 佑奈 (桜井)・池下 琴音 (高田商業)

遠的 99点 1位

近的 19中 1位

総合1位

「燃ゆる感動かごしま国体」出場権を獲得しました。



(高体連 布施 慈人)

第2回地連審査(檀原-奈良)

更なる体配・射技の修練と、申込書の出力設定の再徹底

8月27日(日)檀原公苑弓道場及びロート奈良弓道場に於いて、審査会が行われました。以前に比べ射技の向上が見られたものの以下の点については体配を含め、更に修練を積んでほしいと審査員の先生方から意見がありました。

<体配・射技について>

- ・足踏みが狭い
- ・弦調べを弓の上まで見に行く
- ・打起しで左手が伸びきっている
- ・大三が大きすぎる
- ・口割りが低い
- ・着装が悪い

<学科レポートについて>

・教本以外の引用文章をそのまま用いて、内容が全く同じものがあつた。

<審査申込書・学科試験解答用紙について>

以下2点の再確認と徹底をお願いします。

- ・出力設定は、A4サイズ1枚とすること(出力はA4サイズだがB5表示になるようなことがないように注意する)
- ・日付は、和暦にて記載すること(西暦記載しない)

審査結果は次の通りです。

<第2回地連審査(檀原)>

級位 受審者 23名、1級査定 20名、2級査定 2名
現級 1名

初段 受審者 34名	合格者 29名
弐段 受審者 12名	合格者 7名
参段 受審者 12名	合格者 3名
四段 受審者 8名	合格者 1名

<第2回地連審査(奈良)>

級位 受審者 17名、1級査定 14名、2級査定 2名
現級 1名

初段 受審者 50名	合格者 46名
弐段 受審者 11名	合格者 5名
参段 受審者 13名	合格者 4名
四段 受審者 6名	合格者該当なし

以上

(審査部 高倉 美香)

昇段おめでとうございます

第2回地連審査において次の方が昇段されました。

(8月27日開催 檀原公苑弓道場)

四段

上垣 智美さん (檀原支部)

おめでとうございます。(事務局)

第76回近畿高等学校弓道大会

男子団体:1位 桜井、2位 檀原

女子団体:2位 法隆寺国際、3位 郡山

7月22日(土)23日(日)プロシードアリーナHIKONE弓道場において標題の大会が開催されました。

男子・女子の個人予選は各自8射5中以上通過です。

<個人戦>決勝射詰

女子

福本 菜月 (桜井)	×
米田 理乃 (高田商業)	〇〇〇〇× 3位入賞
店田 真尋 (法隆寺国際)	×
野村 美優 (法隆寺国際)	〇×

男子

谷口 光希 (檀原)	〇〇×	6位入賞
吉田 一成 (檀原)	×	
小川 煌太 (法隆寺国際)	×	
米田 優音 (奈良北)	×	

<団体>決勝トーナメント

女子 郡山・法隆寺国際ともに1回戦を勝ち上がり、準決勝で奈良県対決となり、郡山(9-2-1中)対法隆寺国際(9-2-3中)で法隆寺国際が決勝進出。決勝では兵庫の江南女子に敗れ2位入賞となりました。

男子 桜井・檀原ともに1回戦と準決勝を勝ち上がりました。準決勝では檀原が競射(10-3-2中)を乗り越え、桜井(13中)対檀原(10中)で桜井が1位、檀原が2位となりました。



団体入賞者

(高体連 布施 慈人)

全国高等学校総合体育大会

第 68 回全国高等学校弓道大会

女子個人で廣谷選手(郡山高)が 5 位入賞

8月3日(木)～6日(日)、北海道札幌市真駒内セキスイハイムアリーナ特設弓道場において開催されました。

<個人戦>予選 4 射 3 中以上通過・準決勝 4 射 3 中以上通過・決勝射詰め

女子 福本 菜月(桜井高) 予選 4 射皆中(通過)
準決勝 4 射 3 中(通過)
決勝射詰 ○○×

廣谷 萌音(郡山高) 予選 4 射 3 中(通過)
準決勝 4 射 3 中(通過)
決勝射詰 ○○○○× **5 位入賞**

男子 谷口 光希(樫原高) 予選 4 射 2 中(敗退)
豊内 陸(桜井高) 予選 4 射 2 中(敗退)

<団体戦>1 人 4 射・チーム 20 射

上位 32 校通過・決勝トーナメント

女子 桜井高校

小西 佑奈・金原 由良・福本 菜月

中口 綾乃・金澤 由乃・伊藤 華鈴

予選 20 射 10 中 競技の未敗退

男子 桜井高校

竹田津 遼太・永山 琉人・中島 健太郎

豊内 陸・森下 忠慶・山本 洋輔

決勝トーナメント

1 回戦 12 中で勝ち抜け、2 回戦 15 対 16 中で敗退
(高体連 布施 慈人)

全日・国体・ねんりんピック壮行射会

4 年ぶりに一同に会して開催

全日本近的・遠的選手権大会・国体・ねんりんピック・オンライン全国弓道大会の壮行射会が 9 月 3 日(日)に樫原公苑弓道場において行われました。コロナ禍を経て、4 年振りに一堂に会しての開催となった今年、残暑厳しい中ではありましたが、107 名が参加され、久しぶりに賑やかな会となりました。壮行会では全国大会出場選手の皆さんから試合に向けての意気込みが伝えられ、参加者の方からは温かい励ましの言葉が贈られました。午後からのトーナメント射会では同中競技が行われるなど、白熱した試合が行われました。

トーナメント射会・結果

- 1 位 国体強化 A チーム
(西田 友樹、中谷 祥之、盛山 智貴)
- 2 位 生駒支部 B チーム
(田中 智、石坂 真也、山口 亮二)
- 3 位 国体少年女子 A チーム
(野村 美優、米田 理乃、吉田 望愛)
- 樫原支部 C チーム
(奥田 章人、原田 祐介、中野 順平)



トーナメント 1 位 国体強化 A(盛山・中谷・西田選手)

(競技部 土谷 ひろみ)

第 4 回世界弓道大会 奈良県代表を選出

近畿・全国の予選にむけて

世界弓道大会は来年 2 月 28 日～3 月 1 日に名古屋市 の日本ガイシホール特設弓道場において開催されま す。日本代表選出の予選は 12 月に名古屋で開催予定。各地連から 4 名が参加して、近畿枠の 4 名を 10 月の近畿大会で選出します。全国大会の出場者、過去の戦績などから、4 名の奈良県代表が選ばれました。

林 秀子(錬士五段)、山口 亮二(五段)

盛山 智貴(四段)、西田 友樹(二段)



左から山口・盛山・西田・林選手

(事務局)

9/2 的貼りが行われました。約 40 名の皆様が的貼りをしてくださいました。暑い中ありがとうございました。

(事務局)



新しい試み 年齢別講習会 40～60歳の部(1日目)

先輩・指導者としての資質向上を目指して

9月10日(日)、樞原公苑弓道場において標題の講習会が開催されました。

講師：須田 三郎教士八段、西浦 範光教士七段

参加者：21名(男性7名、女性14名)

今年度、新しい試みとして年代別の講習会が企画され、40～60歳の部に参加しました。

午前が講師挨拶と主旨説明、受講生の自己紹介、事前アンケートまとめ、講義(弓具、歴史、流派、参考となる書物、受講生に求めること)、一手行射、全体講評、及び射技・体配指導、午後は講師による講話、射技・体配指導(午前の続き)、及び一手行射を行い、閉講となりました。講師から、受講生は年代こそ近いとはいえ、弓歴は5年未満から30年以上、参段から称号者までと幅広く、どのような講習会にするのか大変悩まれたと前置きされた上で、「皆さんの年代は今後の連盟運営、とくに2031年の奈良県で開催される国民スポーツ大会の弓道競技運営を実行する能力を、そして各支部においても先輩・指導者としての資質を身につけることが求められる立場であると理解して学んでほしい」との旨が伝えられました。講義では、修練と指導に必要な弓具の知識(各部の名称、特性、材質等)、弓道の歴史、流派(武射系、礼射系など)及び身体(筋肉や骨格)の知識・教養について参考文献を引用しながら中身の濃い講義をいただきました。

一手行射の講評では、西浦講師からは、矢番え動作における弓手肘の張りを保ち下げないこと、膝に弓を置いたとき矢が水平になっていること、大三での馬手を高く取る傾向にあるが、手先ではなく肘で張りを保つこと、残心、弓倒しのとき両拳がきちんと執弓の姿勢と同じであること、をポイントとして教わりました。



羽根が内側に



肘を生かし羽根は外側

参段以上ともなれば動作を疎かにせず、無駄な動きを無くすことにも注意を促されました。須田講師からは、間延びをしないこと、動作は呼吸に合わせて丹田を使うこと、矢番えで甲矢を送り込む際、右手に持った乙矢の羽根を内側に向けないこと、といったご指摘をいただきました。

午後の講話では、西浦講師が故吉本名誉会長の稽古姿勢を模範として、「上手に教わること。教えは素直に受け取り、強い意志力を持って直すこと」、「一人稽古は良くない、必ず他人から見てもらうこと」の重要性を強調されました。そして「高段になれば決まった師を見つけることも大切」と教えていただきました。見取り稽古の大切さについては、「漠然とではなく、気にしている部分を細かく観察すること。あら探しよりも良いところを見つけることが大事」と説かれました。射技・体配指導では、両講師が細かいところまで丁寧に一射一射を見てくださり、各自が取り組むべき課題を見つけたと思います。

受講生一同、次回(1月14日)まで自分の課題克服に取り組むこと心に誓って閉講式に臨みました。

9月とは思えない暑い一日でしたが、講師および指導部の先生方、ずっと見守ってくださった西中会長、阪中理事長にあらためてお礼を申し上げます。

最後に、須田講師が必携書または良書として紹介された参考書籍のうち、入手可能なものを記します。

(書名 著者 発行所)

- ・現代弓道小事典 春原平八郎 全日本弓道連盟
 - ・弓道教本 第二、三、四巻 全日本弓道連盟
 - ・機関紙「弓道」 全日本弓道連盟
 - ・弓道の雑学事典 森俊男、他 スキージャーナル
 - ・弓ごよみ 松永重宣 渡辺晴美
 - ・弓ごよみ(余滴編) 松永重宣 渡辺晴美
 - ・骨のしくみ・はたらき事典 松村天裕 西東社
 - ・筋肉のしくみ・はたらき事典 左明、山口典孝 西東社
- (奈良支部 井上 ゆみ子)

編 | 集 | 後 | 記

9月も下旬に向かおうとする中ですが、まだまだ猛暑が続いています。そんな暑さを吹き飛ばすような、中高生の活躍をたくさんお伝えしました。八木中学校の松村選手、全国優勝おめでとうございます! 国体少年女子は1位で本国体の切符を勝ち取り、これからまだまだ練習を重ねることでしょう。中々触れる機会がありませんが、大学では今、リーグ戦が行われており、各校とも毎週熱い戦いを繰り広げています。中高生、大学生の活躍を一般の方々に伝えられることも、この奈弓連だよりの良さであると改めて感じています。

(編集担当 中西 省五)